

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

☎(2)一1111

◆発行日 毎月1日・15日

◆印刷所 株式会社北新聞社

町民憲章

郷土を愛し 力をあわせ

楽しい町をつくります。

たかのす

No. 320・50・9・15

体力づくりの秋!!

○：残暑がまだ厳しいとはい
え、朝夕はめっきり涼しくな
り、秋の気配が漂うなか、西

小学校では来る十月八日に行
なわれる「第十五回秋田県健
康教育研究大会」の公開に向

って大張り切りです。
○：同校は、この二月に全県
でただ一校、健康教育研究校
に指定され、以来、休み時間
を利用してのナワトビやボー
ル投げ、それに校庭に設置し
た平行棒、タイヤやドラム飛
びなどのほかに、全校児童に

よるジャンカや組体操で体力
づくりをすすめています。
○：こうした体力づくりの積
み重ねが実り、去る八月五日
に行なわれた全県学童バレー
ボール大会では、男女とも優
勝という輝かしい成績を納め
るなど、全校児童が運動を好

きになったといっています。
○：秋も、これからが本番で
す。冬にそなえて、子どもた
ちに負けないよう、体力づく
りに励みたいものです。(写
真は、タイヤ飛びで体力づく
りをする西小学校の児童)



8・20豪雨

22億円を超す大被害 災害復旧に全力を上げる

去る八月二十日の集中豪雨による当町の被害額は、その後現地調査が……
 ……すむにつれてふえ、二十二億三千七百万円の甚大な被害額が見込ま……
 ……れています。
 町では、取急ぎ交通確保のため、道路、橋梁、河川の応急修理を行な……
 ……うとともに、国、県に対しても災害復旧が速やかに行なわれるよう、陳……
 ……情を続けております。

町では、出川町長を本部長 には出川町長が県庁に小畑知
 に被害調査、応急対策、復旧 事を訪ね、災害復旧と今後の
 工事設計書の作成、被害住民 対策について陳情を行ないま
 の対策にと全力をあげるとと した。
 もに、被害調査団に対し、復 町には、八月二十四日に小
 旧工事が早期に着工できるよ 畑知事、二十六日建設省中村
 う陳情。また、八月二十七日 政務次官、浅間東北地建局長、



▲明利又の被災地を視察する小畑知事



▲中村建設政務次官に砂防ダム建設を陳情

砂防ダム建設 などを陳情

出川町長は、それぞれの被害視察団に対し、「ただいま全力をあげて応急対策に努力中であるが、特に土木、農林関係に大きな被害が出、農作物は大きな減収となる。これらの災害復旧は国、県の援助なしにはできないので、速やかに復旧できるように、早期査定と積極的の援助をお願いしたい。」と強く要望。

これに対して、各視察団は「災害の大きさを心配していたが、復旧計画がスムーズにすすんでいるので力強く感じます。町の要望に沿って、できるときはやりたい。」と述べております。

なお、町では国と県に対し、それぞれ次のように陳情しております。

【国に対する陳情】

▽小猿部川上流に砂防ダムを建設してほしい。

▽河川改修を速急に実施してほしい。

【県に対する陳情】

▽農地復旧を速やかに行なうてほしい。

①明年度の作付に間に合うように。

②復旧のための設計書作成につき、県の協力をお願いしたい。

▽災害復旧時点における河川と農業用施設との協議が、円滑かつ迅速に行なわれるよう配慮してほしい。

▽被災地(水田)の病虫害防除についてのヘリのチャーター料(一アール当たり二百円)は町で補助するが、これに要する薬剤費(一アール当たり四百円)の一部を県で補助してほしい。

▽国有林地内における素材生産によって生じ投棄された末木、枝条等により相当の被害が出ているが、今後かかることのないよう、林野庁に対し県より嚴重に申し入れてほしい。

▽小猿部川上流(大湯津内)河川の異状閉塞を排除し、併せて河川改修を速急に実施してほしい。

▽中屋敷部落から下流の未堤防設置箇所に、早期に築堤

町長 日誌

8月16日～8月31日

- 16日 竜森地区競技会
- 16日 県北報公会陽清学園創立三十周年記念式典
- 17日 町民体育祭
- 19日 郷土土地改良区会議
- 20～26日 水害対策本部を設置。被災地の視察や復旧対策および災害調査団に対する陳情を行なう。
- 22日 議会全員協議会
- 27日 災害復旧について知事に陳情〓秋田市
- 28～29日 明利又部落の復旧および移転希望について協議
- 28日 おはよう野球大館北秋大会閉会式
- 30日 県民スポーツ解団式
- 30日 秋田鹿角短絡線建設期成同盟会連絡会議
- 31日 田中部落運動会
- 全町子ども会相撲大会
- 22日 議会 日誌
- 8月16日～8月31日
- 16日 県北報公会陽清学園創立三十周年記念式典〓議長、教育民生常任委員長出席
- 八月二十日 水害に関する全員協議会
- 土木、産業経済常任

してほしい。増額してほしい。―などを
▽住宅移転に対して補助金を
陳情しております。

予想上回る被害

対策本部では、集中豪雨に
よる被害額を調べていました
が、その後現地調査がすすむ
につれてふえ、り災者は一千
六百六十名、三百八十五世帯。
被害額は、町関係が十五億一
千六百六十万円、県・国関係
七億二千五十万円、総額で二
十二億三千七百万円に達し
ています。
被害の内訳は、次のとおり
です。()内は被害額。
本町関係は八月末日現在
【住宅関係】
▽流失は明利又一戸(五百万
円) △全壊は明利又三戸
(二千二百万円) △半壊は明
利又一戸(百五十万円) △



▲明利又部落の移転希望者が出川町長に陳情

集中豪雨で一瞬のうちに鉄
砲水が押し寄せ、大きな被害
を受けた被災部落では、それ
ぞれの応援を得ながら家屋や
農地などの復旧作業にのりだ
しております。
なかでも、集落一帯が濁流
にのみこまれ、流失一戸、全
壊三戸、半壊一戸の被害を受
けた明利又部落では、「こん
な被害は初めてみた。抜本的
な改修がなされなければ危険
で住めない。」として、移転
を希望する人が出ています。
明利又部落三十七戸の内、
移転希望者は当初数戸でした
が、八月二十七日には十三戸
になり、その後も相次いで希

明利又では移転希望も

望者が出ていたため、部落会
では出川町長を訪れ「集団移
転について便宜を図って欲し
い。」と陳情。町では、部落
の意向にそってその対策を検
討しております。
り災者に見舞金
町では、八月二十日の水害
で被災した世帯と、被害の大
きかった部落に対して見舞金
を贈りました。
見舞金は、家屋の流失に五
万円、全壊と半壊に二万円、
床上浸水に一万円。
また部落には、明利又に十

- 床上浸水は明利又、脇神、岩
脇、横溝、七日市本郷など二
百五十七戸(五千五百万円) △
床下浸水百二十三戸(四百五
十万円)
- 【農林・水産関係】
▽田地百五十九ha(四億八千
万円) △橋梁十カ所(一億
円) △水路五千六百m(六
千万円) △道路二千六百m
(三千万円) △頭首工十一
カ所(五千五百万円) △揚水機
一カ所(二千六百万円) △
林道三百六十m、治山十三カ
所(六千七百万円) △畑作
三十ha(一千二百万円) △
稲作六百七十五ha(四億五千
二百二十万円) △草地被害
- (六百万円) △養鯉(百五
十万円)
- 【土木関係】
▽道路二十三カ所(六千三百
八十万円) △橋梁四カ所
(七千二百二十万円) △河川
十三カ所(二千九百万円)
- 【果園関係】
本町の果園関係
▽果園係
▽河川四十八カ所(三億八千
四百万円) △道路二十二カ
所(四千九百万円) △林道
二路線(三百万円)
- 【国関係】
▽河川四カ所(二億二千六百
五十万円) △林道(四千八
百万円) △電柱倒壊、流失
(二千万円)

災害特別融資

このたびの水害で被害を受
けられた商工業者に対し、国
民金融公庫及び県の特別融資
制度が設けられましたので、
商工会にご相談ください。

水害義援金

このたびの水害に対し、各
方面から義援金(品)が対策
本部に贈られています。
八月二十三日から九月三日
までの受け付け分は、次のと
おりです。

- ▽寺田鮮魚店におにぎり三百
六八分
- ▽七日市郵便局普通葉書一
千六十五枚、郵便書簡二百
十三通
- ▽県災害対策本部掛布団六
十八枚、マットレス四十三
枚、毛布六十枚、タオルケ
ット三百枚、作業服三十三
着、シャツ上下百五十七組
タオル六百六十五本、敷布
百二十八枚、布団カバー三
十九枚
- ▽NHK秋田放送局タオル
百本、石けん六十個
- ▽鷹巣町社会福祉協議会石
けん十個入二百四十
- ▽大館労働基準監督署救急
薬品詰め合わせ十五個

- 26日 委員会水害現地視察
建設政務次官水害視
察議長出席
- 27日 阿仁鉱山巻洲砕石工
場第一期竣工式議
長出席
- 30日 北秋田郡町村議会議
長協議会議長出席

- ▽鷹巣ライオンズクラブ九
万円
- ▽県知事十万円
- ▽全国町村会長一万円
- ▽日本社会党鷹巣支部五万
八千三百三十円
- ▽東北開発株式会社十万円
ほかセメント十五
- ▽北小路すずらん会一万円
- ▽東北電力株式会社十万円
- ▽辻信次郎一万円
- ▽森山呉服店一万円
- ▽鷹巣地区母親連絡準備会
一万円
- ▽能代市中川原地区ほか五自
治会六万七千二百円
- ▽秋巴バス株式会社三万円
- ▽鷹巣飲食店組合五万円
- ▽鷹巣教会幼稚園母の会三
万四千九百円
- ▽銀座通り商店会、同青年部
五万三千円
- ▽男鹿ライオンズクラブ二
万三千五百円
- ▽戸沢敬悦・戸沢あけみ八
千九百十円
- ▽鷹巣女子学院
- ▽鷹巣女子学館、寺田服装学
院一万一千二百三十四円
- ▽鷹巣町役場三役、課長五
万一千円

ほくもわたしも日本人



10月1日は国勢調査です

調査のねらい

- ▼ 十月一日には、全国いっせいに国勢調査が行なわれます。
- ▼ 九月二十四日から三十日までに、調査員が皆さんのお宅に調査表の記入をお願いいたしますので、お宅にふだん住んでいる方について、もしも記入していただくようお願いいたします。
- ▼ 記入していただいたことを他にもらしたりすることは決してありません。
- ▼ 国や県、町のこれからの行政の基礎になる国勢調査に、皆さんのご協力をお願いします。

国勢調査は、全国・都道府県・市区町村の人口や世帯数、年齢別などの人口構成、核家族やその他の世帯の構成を明らかにして、国はもちろん、都道府県や市区町村の地域社会に直結する行政に役立つ基本的資料を得るために行なわれるものです。

最近、過密、過疎問題、人口高齢化や核家族化に伴う社会福祉対策などが論議されており、人口や世帯に関するきめ細かい統計の必要性が高まっています。

このため、今回の調査では、調査結果の早期利用や世帯統計の充実を図ることにしています。

調査のしくみ

町全体を百三十九の地区に区分して、国勢調査区が設けられています。

調査することから

【世帯員について】

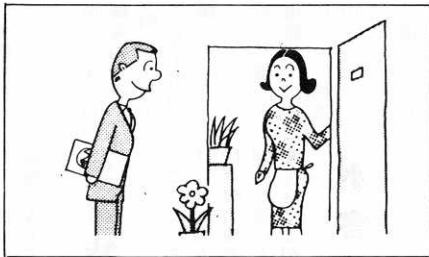
- ① 氏名
- ② 男女の別
- ③ 世帯主との続き柄
- ④ 出生の年月
- ⑤ 配偶者の有無
- ⑥ 国籍
- ⑦ 仕事をしたかどうかの別
- ⑧ 従業地または通学地

国勢調査員は、この調査区をひとつずつ受け持ち、九月二十三日までに調査区境界の確認をして、九月二十四日から三十日までの間に、各世帯に「調査票」を配り、調査票の記入を依頼します。そして、十月一日から五日までの間に、もう一度各世帯を訪問し、記入済みの調査票を集め、調査員は調査票の検査、整理を行います。

こうしてできあがった調査票は、町から県を通じて総理府統計局に集められ、直接「機械」にかけて調査結果を集計します。

9月24日水～30日火

各世帯に「調査表」を配り、調査表の記入を依頼します。



10月1日水～5日日

もう一度、各世帯を訪問し、記入済みの調査票を集めます。



調査票は汚さない
折らない
ぬらさない

国勢調査の人口当て懸賞募集

十月一日の国勢調査による鷹巣町の人口数はいくらになるでしょうか。
この数を当てる懸賞募集を行ないます。どうかふるって応募ください。

▽締切り 九月三十日（当日の消印まで有効）

▽応募先 役場企画室

▽応募者 鷹巣町在住者で男女年齢に関係なく、どなたでも応募できます。

▽ハガキに、人口数と住所氏名、年齢を記入。応募は一人一枚。

▽正確にあてた方、あるいはそれに近い二十名の方に記念品を贈呈します。

▽発表は、地方集計概数によるので、十一月一日号か十五日号の広報で発表の予定。

*次のヒントを参照ください。

45年国勢調査人口 二五、三九〇人
45年国調より転入出を差引きした7月31日現在の人口 二四、六九八人

南鷹巣に十四戸建設

住宅工事順調にすすむ

南鷹巣団地に建設をすすめている簡易耐火構造二階建住宅十四戸は、……
 ……工事も順調にすすみ、十月末には完成、十一月には入居できる運びとな……
 ……りました。

町では、南鷹巣団地の再開 十六年から五カ年計画で百十
 発と住宅需要に対処するため、戸の住宅を建設することにし、
 昭和二十五年に建設した木造 昨年までに九十六戸を建設。
 住宅六十五戸を解体、昭和四 ことは、六月二十八日から



▲南鷹巣団地に建築中の町営住宅

十四戸の住宅建設をいそいで
 いたものです。
 建設中の住宅は、簡易耐火
 構造二階建、一戸当たりの面
 積は五十一、四八平方(十
 五・六坪)、一階は炊事室兼
 居室、洗面所、風呂場、便所。
 二階は六畳と四畳半の二室で、
 一、二階とも各室に押し入れ
 がついているほか、一階南面
 に居室から出入りできる庭が
 ついています。

工事費は、第一工区が六戸
 で一千九百四十万円、第二工
 区が八戸で二千五百七十万円
 合計四千五百十万円ですが、
 なお、付帯工事として、三、
 三平方(一坪)の物置、プ
 ロック三段積み各戸境界の
 へい、測溝、それに一部舗装
 の計画もあり、これら付帯工
 事におよそ四百万円が見込ま
 れております。
 住宅建設のすべての工事は
 十月いっぱいまで完成、十一
 月上旬には入居できる予定で
 す。町では、来年度以降も南

鷹巣団地の再開発と住宅需要
 の緩和を計るため、老朽住宅
 の建替えを計画しており、こ
 れら建替え住宅の入居者のか
 ねあいをみながら、十月中旬

入居者を募集する予定です。
 なお、入居者募集の場合は
 十月一日付け広報でお知らせ
 いたします。

平和の誓い新たに

戦没者追悼式

本町の戦没者追悼式が、九
 月三日公民館に町内の遺族約
 三百名が出席して行なわれ、
 平和の誓いを新たにしました。
 午前十時三十分、遺族が黙
 とうしたあと、出川町長が「戦
 役に従軍、護国の魂として散
 華した六百五十七柱の英霊に
 対し、哀悼の念を禁じ得ない。
 戦後三十年、本町も大きく発

展しております。遺族の方も
 お互いに励まし合い、家を守
 っております。ごめいふくを
 祈ります。」と式辞を述べま
 した。
 次いで、渡辺北秋田福祉事
 務所長、沢田町議会議長、河
 田大茂蔵遺族会会長が追悼の
 ことばを述べ、このあと各地
 区の遺族代表や遺児代表の松



▲公民館で行なわれた戦没者追悼式

尾昭利さんらが次々と献花し、
 追悼式を終りました。

ただいま工事中

- 【防火貯水槽新設工事】三カ所
 - ▽工事場所 七日市 ▽請負額 七十万円 ▽請負者 長岐建設 長岐六郎
 - ▽工事場所 坊沢上町 ▽請負額 六十八万五千円 ▽請負者 光建設 藤島絹蔵
 - ▽工事場所 綴子小田 ▽請負額 五十二万五千円 ▽請負者 畠山建設 畠山鉄雄
 - *工事期限は、いずれも九月二十日まで。
- 【旧埋立地客土工事】
 - ▽工事場所 藤株上宿 ▽請負額 五十七万円 ▽請負者 畠山建設 畠山鉄雄 ▽工事期限 十一月二十日
- 【都市下水路工事】
 - ▽工事場所 大柳倍放添 ▽請負額 第一工区四百二十万円、第二工区六百七十七万五千円 ▽請負者 村上土建 村上勝光 ▽工事期限 第一工区九月三十日、第二工区十一月三十日
- 【町民球場付帯工事】
 - ▽工事内容 外野フェンス、タックアウト塗装 ▽請負額 五十三万円 ▽請負者 小笠原塗装(株) 小笠原勝郎 ▽工事期限 九月二十日

訪ソ2週間の報告

第4回秋田県青年海外研修団員として、8月10日から2週間にわたり、ソ連各地を見学、交歓交流を深めてきたシベリアコースに参加した綴子小田佐藤啓悟君(24)、モスクワコースに参加した

綴子東館堀内良三君(26)、七日市林の沢三上一清君(27)、坊沢緑ヶ丘今島健一君(25)の4人に、訪ソの感想を記していただきました。



堀内 良三君 今島 健一君 佐藤 啓悟君 三上 一清君

質素な生活

佐藤 啓悟

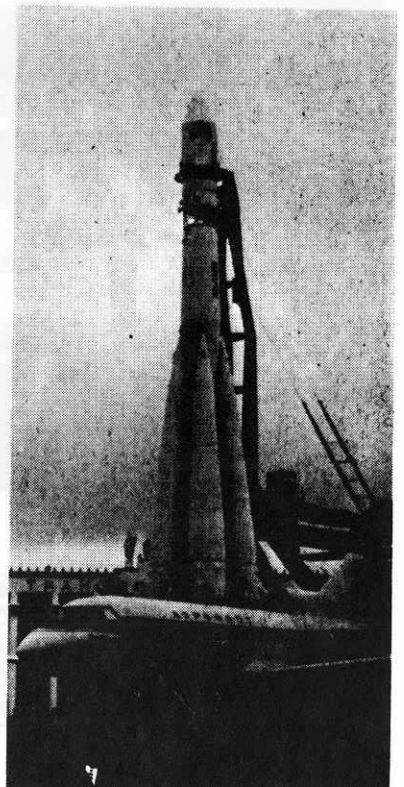
シベリア農業については、事前研修や出発前に本を読んだり、先輩から聞いたりしていたが、実際みた感じでは農業はかなり進んでいると思われた。

シベリア鉄道沿線には、広大な土地に何百haあるかわからない位のコーン畑、じゃがいも畑が広がり、そして牧草地と白樺林が遠々と続き、そ

の中に汽車で三十分か一時間の所に質素な集落がポツリポツリとあり、集落の周辺には牛、山羊、鶏が自由に放されてのどかな農村風景であった。

また、訪問した各都市の郊外にもそのような風景がみられたが、都市周辺の農家は家庭菜園を持っており、日本では忘れかけている自給自足をこなしていた。

圃場で動く農業機械をみても、日本のような華やかな広告で宣伝されるような機械は一台もなく、ほんとの実用



▲経済博覧会のソユーズの模型

的な機械しかなかった。日本では春と秋にしか利用されないトラクターをみても、圃場ではいろいろなアタッチを付けて動いていたし、町の中でもトラクターを牽引してつばな輸送機械としての役割を

していた。

栽培されている作物の生育状況は、今回みたかぎりでははつきり言えないが、トマト、キュウリ、じゃがいもにしても日本のものよりは粒も小さく、収量も少なく味も悪かった。しかし、ソ連はシベリア開発に全力を注いでおり、また青年達も一生懸命になって資源開発や農業問題に取り組んでいるので、いつかは日本のような大きなトマト、キュウリ等もでき収量も上る事だろう。

あの広大なシベリアの大地に、一生をかけて立ち向うソ連の青年達よがんばれと思う。そして何不自由のない日

本に育った我々青年も、日常の生活を今以上に大切に、地域社会のためがんばらねばと思った。

研修を終えて

堀内 良三

果てしなき大地、ソビエト連邦。ソビエトの父と言われるレーニンを尊敬、崇拝している国民、この広大なソビエト連邦を十数日間の訪問で知り、また語ることは困難であるが、ハバロフスクーモスクワレーニングラードキーエフの都市を訪問。私の研修テーマである「青少年に対する教育」について記してみる。

ソ連の子供に対する教育は、三歳から七歳の幼児教育の時点で大人を尊敬する教育の徹底、一対一の教育システムなど、将来に向けて、子供達に対する教育のあり方というも

のを、いかに大切にしているかがうかがわれる。私はこの教育のあり方は、子供のための教育だけでなく、将来の国家のための教育であると感じた。レーニングラードでの青年交流の中では「子供の教育」というテーマで話し合いましたが、いろいろな質問に対して、あまり期待した答弁が得られなかった。しかし、幼稚園の中でも自分の好きなものを選択でき、五歳になると、外国語の幼児園もあり、希望があれば入園出来るそうである。親の進学や進路に対しては、親は口を出さず、子供の意志によるものが多いとのことであった。

青年の組織であるコムソモール、この指導下に少年、少女達で構成しているピオネールがある。私達はこのピオネールキャンプを訪問した。キャンプに参加している子供達は、夏休みの間、両親のもとを離



▲ハバロフスク市の保育園

れ、広大な自然の中での集団生活をし、健全な体を作るため、子供達だけの生活をして育てる教育のすばらしさ、わが国でも考慮すべき点ではないだろうか。このキャンパスは、両親が共働きの家庭の子供達であるが、両親が共働きのしなげなければならないと言ふ事は、広大な土地があるにもかかわらず、かざられた場所での量産第一主義と、国家のあらゆる面での生産制の向上、という政策の上に成り立っているのではないだろうか。また、ピオネール達、だけれども言われることなく、自国を守ってくれた無名戦士の墓を守っている。この姿こ

愛国心の強い青年

今島 健一

「未知の国ソ連」「私たちの住む社会とは根本的に違うソ連」とはと漠然とした気持ちで、この二週間の研修に望んだ。しかし、この不安は各都市での青年交流などにおいて解消された。言葉が通じなかった

にもかかわらず、シベリア鉄道の列車内、首都モスクワの街角、そして北欧に近い革命の町レニングラード、緑の共和国キエフ……で「ハラシエー」「ズドラーストウイチェー」「ダスビターニヤ」というような簡単な言葉にジェスチャーを混じえた会話、またダンス、歌などによりお互いに友好親善を分かち合い友だちになったことは、この研修で得たかけがえのない思い出である。ただ残念なのは、日常生活の中にあつて、言論の自由がある程度規制されているように思われたことである。刑務所に収容されている人のことや、国情等を聞くことができないといふような無言の返事が帰ってくる。ごく一部の面しか見なかったので詳しくはわからないが、言論の不自由さを感じた。思想的なことばさておいて、服装は質素だが、その中にもとことなく清潔感と、清く整然とした感じがあるように私の目には映った

同じ世代の青年として、私たちが学ぶ点はたくさんあつたが、特に感じた一つは規律である。私からみれば、自由な生活の中にも何か束縛されているように見えるが、一つの社会の規律はハッキリ守られていた。こうしたことはいわゆる国民性の違い、道徳感の違いであろうか。これは青年だけでなく、ソ連人全般に

幼児教育について

三上 一清

「明るく、楽しく、整然と」を合ふことばに、期待と不安に胸をおどらせ、勇躍海波をけて、目的地ソビエト連邦に向けて出航。十四日間の数々の思い出を各自の心に、また現地では交友親善の実績を残し、全員無事に帰国しました。私達の班の研修テーマは「ソ連邦の生活実態」、そのサ

ついで感じられた。たとえば路上へタバコの吸がらやゴミなどを捨てない。また、酒を飲んでいる人たちは沢山いるが、大声で歌って歩くとか、ちどり足で歩く青年が見受けられなかったことなどいろいろあげられる。ソ連の青年たちは、一人一人がソ連は私の国である。私はソ連人であると胸をはって堂々とと言えるようでしたし、国の政治など社会のことについて、一生懸命に自分たちのおかれている環境、立場の中で積極的に参加しているようであつた。まとめとして、ソ連の青年たちは、今まで国家が歩んできた歴史を大事にし、平和を愛し、自分たちの幸福のために国家をよくするという愛国心の強い青年たちが多かつたと感じてきた。

ソ連の保育園は、親の職業によつて区別されており、私達が見学したハバロフスクの託児保育園は市の中心街にあり、三カ月児から七歳児までの炭坑労働者専用の保育園でした。一日の保育時間は十二時間、一クラス二十〜二十五人を二人の保育さんが交替で受け持っており、専従の医者と看護婦が配置されています。私達が行った時は、パンツ一枚でボール投げをしていましたが、私達の訪問で室内に入り歌で歓迎してくれました。教育部門については、三カ月から三歳児までの乳児部門、四歳から七歳児までの幼児部門にわかれ、幼児部門では、

ただ、この保育園を見たかぎりにおいて、子どもを大切にしようという一貫した教育はすばらしいものですが、日本のように園児に活気が見られず、自由が束縛されているように感じられました。また、女性はあらゆる職業に進出して、汽関士、駅長、車掌、トロリーバスの運転手から左官職にいたるまで、働く女性が見うけられました。このほか、たぐさんの施設を見学してきましたが、肌で感じたこれらの研修を生かし、取捨選択しながら、今後地域のために貢献したいものと念願しております。



▲赤の広場

みんなの広場



みんなの広場は町民みなさんの対話の場としてご利用いただく欄です。ぜひあなたのご意見、ご感想、作品、部落内の出来ごなど、どしどしお寄せください。

あて先は鷹巣町役場総務課広報係、お待ちしています。

日独スポーツ少年団

交流に参加して

摩当 松岡政行(19)

松岡君は、七月十六、日独同時交流日本派遣団(百四十八名)の一員として、日独スポーツ少年団交流の一員として、西ドイツの各地を転戦交換してきましたが、その模様を次のように寄稿してきました。



▲西ドイツの子どもと松岡君

日独同時交流日本派遣団(百四十八名)の一員として、七月十六日ドイツに向けて羽田空港を出発、十七日から二十一日まではウィスバーデン市のユースホテルでの生活に過ごしましたが、ぼくたちの東北グループは宮崎グループと、ノルトラインウェストフ

アーレン州内を主体に交流や民泊、施設見学などをし、八月十五日まで一カ月間西ドイツに滞在、八月十九日に鷹巣に帰ってきましたので、感じたことを記してみます。

西ドイツ滞在中は、どこへ行っても「日本とドイツは昔からのつきあいだ」と言われて親切にしてくれ、感激しました。

交流の合い間には、学校や州、市の体育施設として室内競技場、陸上競技場、屋内屋外プールなどの施設見学しましたが、その中で特にサッカー場はどこへ行っても目につき、五万人を取容できるサッカー場もあり、その規模や設備はすばらしいものでした。

また、休みを利用してキャンプをしている人が多いのは驚きました。

日程はほとんど団体行動でしたが、ドイツ語がわからないので個人個人でたまにレストランに食事に行っても、何が運ばれてくるやら不安な気持ちになったり、アーヘンの教育センターでキャンプして

いた青少年たちと交流しようとしても、何を言っているのかわからないので、言葉さえ通じたらと、何度も思いましました。

八月一日から三日までは、一般家庭にお世話になる民泊があり、短かい期間でしたがドイツ人と生活をともにすることができました。ぼくが泊ったのは老夫婦だけの家庭でしたが、二人共とても親切にしてくれ、言葉の通じないのが苦にならないほどでした。

今度の交流は施設見学が多く、学校へ行っても夏休みで生徒がいらないなど、ぼくはもつと青少年との交流会や、民

泊などが多ければよかったですと思いました。

ドイツに行って一番強く感じたことは、西ドイツの国会議事堂を見学した時に説明してくれた人が、「この国会議事堂は、ベルリンがかえってくるまでの仮の議事堂です」と言った言葉。何んとも言えない感じを受けました。

西ドイツの一カ月の貴重な生活は、これからの生活に生かしていきたいと思いつた。この町からも、機会があったらなくさんの人が、外国へ行ってもらいたいと思いつた。

能代市の今村さん

児童公園に樹木贈る

能代市大手町の今村徳三郎さん(75)は、このほど児童公園に十年生「青森トド松」

と「メタセコイヤ」の樹木二本を贈りました。今村さんは、昭和二十六年



▲今村さんとメタセコイヤ

十一月から四十九年五月まで鷹巣木材の代表社員として経営にあたっておりましたが、この間、町や町民のお世話になったお礼にと、児童公園に樹木を贈ったものです。

催し物案内

- 16日(火) 前山婦人学級 前山部落会館 主婦の健康教室 体育館
- 18日(木) 少年スポーツ教室 ジュニアトレーニング、卓球 体育館
- 19日(金) 少年スポーツ教室 バスケボール 体育館 古文書解説講座 公民館 堂ヶ倍家庭学級 堂ヶ倍部落会館
- 20日(土) 盆栽・日舞・調理講座 公民館
- 21日(日) 鷹巣婦人リーダー学級移動研修 秋田市方面
- 23日(火) 主婦の健康教室 体育館
- 25日(木) 少年スポーツ教室 ジュニアトレーニング、卓球 体育館
- 26日(金) 少年スポーツ教室 バスケボール 体育館 地方史講座 胡桃館収蔵庫
- 27日(土) 書道・詩吟・文学、フラワー・謡曲講座 公民館
- 栄家庭教育学級 摩当部落会館
- 30日(火) 主婦の健康教室 体育館

長寿お祝い申しあげます

今日15日は、多年にわたり社会につくした老人を敬愛し、長寿を祝う「敬老の日」です。
 本町の70歳以上の敬老者は男 680人、女 902人、計1,582人で、昨年より64人多くなっています。
 町では、長寿を祝い、ことし80歳になられた80

人の方に鳩杖、80歳以上の方 330人に座ぶとんと敬老祝金3,000円を贈りました。
 なお、本町の男女別20名の高令者は、下記表のとおりです。
 長寿お祝い申しあげます



岩谷 トヨさん



佐藤 タケさん



津谷 泰司さん



伊藤 堅治さん



田中 トキさん



佐藤 キツさん



佐々木三子さん



斉藤 良助さん



成田 茂助さん



三沢 栄助さん

昭和50年 男女別長寿ベスト20

(50. 9. 1現在)

氏名	生年月日	年齢	住所	順位	氏名	生年月日	年齢	住所
佐藤 タケ	明治14. 9. 10	94	妹尾館	1	津谷 泰司	明治15. 4. 15	93	坊沢大町
岩谷 トヨ	15. 8. 1	93	綴子下町	2	伊藤 堅治	16. 5. 7	92	新松葉町
佐々木 三子	16. 7. 16	92	青山荘	3	斉藤 良助	17. 12. 19	90	東住吉町
佐藤 キツ	17. 4. 1	91	根木屋敷	4	成田 茂助	18. 12. 22	89	坊沢相善町
田中 トキ	17. 4. 2	91	青山荘	5	三沢 栄助	19. 5. 1	89	北新町
岩本 タケ	17. 5. 23	91	岩脇	6	照内 忠吉	20. 1. 10	88	向黒沢
河田 ムラ	17. 7. 9	91	西住吉町	7	小笠原 由蔵	20. 4. 3	88	綴子大畑
三浦 フク	18. 3. 11	90	新田中	8	武田 忠治	21. 1. 10	87	今泉
五代儀 フミ	18. 7. 10	90	西横町	9	上原 喜重郎	21. 4. 1	87	青山荘
花田 トメ	19. 2. 19	89	青山荘	10	成田 兼五郎	21. 4. 9	87	今泉
日景 トメ	19. 7. 3	89	"	11	佐藤 文蔵	21. 6. 13	87	葛黒
島山 サヨ	19. 7. 22	89	脇神	12	菊地 礼治	21. 6. 17	87	青山荘
神成 リエ	19. 11. 13	88	小森	13	三沢 儀助	21. 8. 25	87	田中
今川 セツ	20. 3. 20	88	鎌沢	14	佐藤 武右エ門	21. 10. 26	86	坊沢大町
岩谷 ツヨ	20. 4. 20	88	摩当	15	高橋 貞夫	22. 5. 16	86	綴子上町
出川 テン	20. 6. 4	88	鎌沢	16	柏木 清七	22. 6. 22	86	東住吉町
中島 ハツ	20. 8. 14	88	舟場	17	米沢 信喜	23. 10. 15	84	鎌沢
佐藤 マツ	20. 8. 19	88	坊山	18	佐藤 寅五郎	23. 12. 10	84	摩当
戸島 リノ	21. 1. 1	87	坊沢街道町	19	成田 喜八	24. 1. 10	84	東横町
左近士 キヨ	21. 1. 3	87	末広町	20	小貫 士治	24. 1. 25	84	駅前

第五回県民スポーツ大会

八種目で優勝を飾る

女子リレーは大会新記録

「勝敗よりも、まず参加を」をモットーに、第五回県民スポーツ大会は八月二十三、二十四の両日、秋田市と能代市を会場に開催されました。本町から参加した選手は各競技に大活躍、八種目で優勝を飾りました。

本町からは、陸上、バドミントン、バスケット、卓球、庭球、剣道、相撲の七競技に出場しましたが、バスケット女子が優勝したのをはじめ、庭球が準優勝、初出場のバドミントン女子が三位、剣道が



▲優勝杯を前に戦果を披露する長崎団長

三位に入賞したほか、陸上競技では七種目で優勝を飾りました。

- 優勝者は、次のとおりです。
- ①桐越一英(横町)、藤内春光(七座)、高橋俊晴(綴子)、佐藤要(糠沢) 45秒7
- ②同四百リレー
- ③同二百リレー
- ④同二十歳以上三十歳未満百リレー
- ⑤同二十歳未満百リレー
- ⑥同二百リレー
- ⑦同二百リレー

- ⑧成田睦子(松葉町) 15秒
- ⑨同四百リレー
- ⑩成田睦子(松葉町)、寺田礼子(坊沢)、佐藤京子(糠沢)、湊啓子(糠沢) 59秒5
- ⑪大会新(バスケットボール)
- ⑫女子優勝 長岐佳世子(七日市)、長岐沙知子(根本屋敷)、成田晴子(旭町)、佐藤ムツ子(根本屋敷)

佐藤厚子(大堤)、小塚由美子(川口)、今川民子(糠沢)、宮野睦子(栄町)、相馬よし子(川口)

出かせぎ者講習会

大館職安鷹巣出張所では、ことしの秋冬期出かせぎ者を対象にして、次の講習会を行いました。

- ▽期日 九月十七日
- ▽時間 午後一時～三時
- ▽内容 秋冬期安定就労対策について
- ▽期日 九月十九日
- ▽時間 午前九時～十二時
- ▽内容 一般建築工法に基づく安全知識について
- ▽期日 九月十九日
- ▽時間 午前九時～十二時
- ▽内容 一般建築工法に基づく安全衛生知識について

第八回子ども会相撲大会

旭町チームが優勝

個人は河田君と畠山君

第八回全町子ども会相撲大会が、八月三十一日午前九時から綴子小学校体育館特設土俵で開かれ、団体、個人戦に五時間わたる熱戦を展開した。

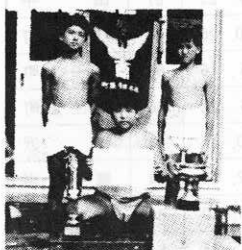
団体戦は旭町子ども会が優勝、二回戦を行ない上位十六チームが決勝トーナメントに進出、個人戦は二年の部で河田君、三年の部で畠山君がそれぞれ優勝した。



▶二年の部優勝 河田君



▶三年の部優勝 畠山君



▶団体優勝 旭町チーム

- で綴子上町Bを二対一で敗つた旭町が優勝を飾りました。
- また個人戦では、二年の部に四十人、三年の部に四十二人が参加、元氣な土俵に、付きそいの父兄から盛んな声援がおくられていました。
- 各部門の三位までの成績は次のとおりでした。
- 〔団体戦 一チーム三人〕
- ▽優勝 旭町(木村清己、本城谷満、橋本路夫)
- ▽準優勝 綴子上町B(高橋将樹、小松正彦、石川学)
- ▽三位 小松正彦(細田修平、河田政伸、五代儀正康)
- 〔個人戦 二年の部〕
- ▽優勝 河田俊悦(こまどり)
- ▽二位 村川 晋(駅前)
- ▽三位 近藤 宏(旭町)
- 木曾英樹(竜の子)
- 〔個人戦 三年の部〕
- ▽優勝 畠山清鴨(どじょうこ)
- ▽二位 九島 力(松の子)
- ▽三位 米沢正臣(糠沢) 藤島 拓(元氣)

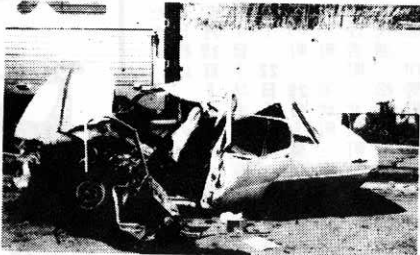
子ども 事故防止を重点に

22日から秋の全国交通安全運動

- ▽……秋の全国交通安全運動は、九月二十二日から十月一日までの十日間行……
- ▽……なわれませう。
- ▽……今回は、①歩行者、自転車の事故防止、特に子どもと老人を交通事故……
- ▽……から守る ②飲酒運転の徹底追放 ③シートベルト、ヘルメット着用……
- ▽……励行―を重点目標として実施されます。

この運動は、前記三点を重点に、歩行者、運転者、運転者の雇用主、その他陸上交通に關係あるすべての者に交通安全思想の普及徹底を図り、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を目的に、期間中は、特に最近増加しているいわゆる暴走運転については、取締りを強化することとしております。

また期間中は、次のような交通安全教育を推進します。
▽子どもに対しては、保護者特に母親ぐるみの指導を重視



国道7号線伊勢堂地内にていねわり運転による事故

農家のみなさんには、いよいよ秋の農繁期に入りました。この時期は、毎年のように農業機械などによるいたましい事故が発生しております。そこで、この時期に農業機械等による事故の絶滅を期すため、本年も九月二十日から十月十九日までの一カ月間を秋の農作業安全強調月間と定め、事故防止を推進すること

農業安全強調月間 農繁期の事故防止を

9月20日～10月19日

農家のみなさんには、いよいよ秋の農繁期に入りました。この時期は、毎年のように農業機械などによるいたましい事故が発生しております。そこで、この時期に農業機械等による事故の絶滅を期すため、本年も九月二十日から十月十九日までの一カ月間を秋の農作業安全強調月間と定め、事故防止を推進すること

停止の励行
②左折、右折時の方向指示と安全確認
③設備はか乗車の禁止、積載、重量制限の励行
▽乾燥機の取扱いに注意し、火災事故を防ぐこと。

統計功労で表彰

第二十二回秋田県統計大会が、去る九月九日秋田市の県教育会館で行なわれましたが、席上、本町から次の四氏が統計調査の功績が認められ、知事表彰を受けました。
畠山勉(松沢) 畠山喜久雄(新松葉町) 佐藤善治郎(太平町) 米沢佐一郎(瀬沢)

身体障害者の 肢体巡回相談

該当される方は、鷹巣保健所または県環境保健部公衆衛生課特定疾患対策係(電話 秋田六〇―一三八五)にお問い合わせください。

海上保安学生募集

海上保安庁では、海上保安大学校(四年)と海上保安学校(一、二年)の学生を募集します。

原爆被爆者へ!!

国、県においては、これまで広島、長崎における原子爆弾被爆者数の確な把握につとめ、健康診断の実施、医療費の支給、健康管理手当等の支給など被爆者の健康管理の面、生活の援護の面からその対策を講じてきましたが、このたびこれらの制度の一層の活用を図るため、広島、長崎の両市で被爆された方で、まだ被爆者健康手帳を受けていない方に、秋田県では被爆者健康手帳を受けよう呼びかけております。

▽試験日①大学校学生十一月二十九日、三十日 ②学校学生十一月三十日
▽問い合わせは、秋田海上保安部(秋田土崎港西一―七―三五)へ。

— ごみ収積所をきれいに —

ごみ集積所に、収集日以外の日にごみを出す人がおり、集積所付近の人たちが大変迷惑しております。収集日以外の日には、絶対にごみを出さないでください。

なお、ごみ収集車は家庭から出るごみの収集です。商店や工場から出るごみは、各自で埋立地に運んでください。

ゴミ収集日程表

() 内は燃えないゴミ

Table with columns for town names (町内名・部落名) and collection dates for October, November, and December. Includes specific dates and days of the week for each area.

三歳児健康診査

昭和四十六年九月一日から昭和四十七年八月三十一日生まれまでの三歳児を対象に、健康診査を行ないます。

日程は、次のとおりです。
9月30日 七日市、沢口
10月7日 坊沢、七座
10月14日 綴子
10月22日 掛泥、栄、あけぼの町
10月29日 鷹巣(末広町、太平町、米代町、東住吉町、西住吉町、北新町、福住町、学校通、松葉町、新松葉町、駅前、伊勢町、東仲通、材木町、舟見町、森館町)
11月4日 鷹巣(南鷹巣、東横町、

西横町、仲町、大町、旭町、新旭町、西仲通、三吉町、桜木町、元新町、花園町、東旭町、西旭町、栄町)
受付時間は、いずれも正午から午後一時まで、鷹巣保健所で行ないます。
なお当日は、配付されたアンケート用紙に記入し、母子手帳と一緒に持ちこたください。

お知らせ
コーナー



この欄はあなたへの通知です。かならず目をとおしてください。

九月の健康相談

九月二十四日の健康相談は、午前十時から午後三時まで、鷹巣町公民館保健相談室で血圧測定やムシ歯予防のフッ素イオン導入法を行ないます。
九月十八日の乳児健康相談は、四十九年八月生まれと十一月生まれとなっております。
受付時間は、十二時三十分から午後一時三十分まで。相談場所は鷹巣保健所です。

香典返し

このほどのかたから、香

慶弔だより

8月16日〜8月31日
誕生おめでとうございます
畠山達也(和雄二男)あけぼの
三沢宗樹(勲 長男) 栄町
成田信也(健二長男) 末広町
千葉琢磨(茂春長男) 中屋敷
長谷川弥生(隆司二女) 三吉町
泉 洋之(和行長男) 藤株
成田幸子(与志蔵二女) 三吉町
松橋あや子(良夫二女)
▽門ヶ沢 笹代与一さんから亡父多吉郎さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
▽大町 九島春吉さんから亡妻キクさんの香典返し 二〇、〇〇〇円

- 二人の前送を祝福いたします
小 玉 敏 広 栄 町
木 村 真知子 舟見町
加 賀 孝 雄 東横町
小 林 京 子 東横町
高 橋 敏 男 学校通
藤 島 利 里 子 学校通

おくやみ申しあげます
九島 キク(56) 大町
高橋 アサ(60) 上町

訂正
九月一日付広報慶弔だより欄中、湯ノ岱・佐藤美奈子(富雄長女)は(孝二郎長女)です。ので、おわびして訂正いたします。